

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 18 日(日)

試合時間：15:20～

主審：岩尾 圭治

副審：井元 誠

東海大学九州	○ 7 4	16	—1st—	11	● 6 3	九州国際大学
		23	—2nd—	25		
		20	—3rd—	15		
		15	—4th—	12		

第 1 ピリオド

両チーム、相手の激しいディフェンスで得点できない中、東海大が #2 長野から、#7 林の速攻で先に得点する。その後も、東海大 #21 谷里、#2 長野が 3P シュートを決めるなどしてリズムを掴もうとする。対する九国大は、#27 川口の 3P シュートや #14 江崎のトライブシュートで東海大にリードを許さない。リバウンドからのチャンスを多く生かした東海大が、16-11、5 点リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

開始早々から激しい攻防で点の取り合いとなる。東海大は高さとスピードを武器に、#8 佐竹のジャンプシュート、#23 趙を中心としたオフェンスで九国大との差を広げていく。中盤、九国大は 5 人全員でディフェンスをし、相手の落としたシュート確実に得点へとつなげていく。残り 1:20 には #27 川口のバスケットカウントも飛び出し、東海大へと詰め寄っていく。39-36、東海大 3 点リードで後半へ。

第 3 ピリオド

後半に入っても、東海大はオフェンスの勢いが止まらず、持ち味のスピードを生かし得点していく。残り 6:11 には、東海大 #2 長野のバスケットカウントを沈め、流れを引き寄せていく。更に、東海大 #7 林を起点にボールを回し、相手に的を絞らせない。離されたくない九国大は、#12 田中のリバウンドシュート、#14 江崎の 3P シュートで食らいつく。しかし波に乗る東海大を止めることができず、59-51、東海大が 8 点にリードを広げ、最終ピリオドを迎える。

第 4 ピリオド

追いつきたい九国大は、#27 川口の 3P シュート、速い攻めから合わせを作り、シュートを決めていく。残り 4:02、九国大がタイムアウトを請求し、逆転を試みる九国大。しかし、東海大は #2 長野のバスケットカウント、#7 林のポストプレーで九国大とのリードを徐々に広げていく。終盤に入り、九国大の反撃は続いたが追いつくことができず、最後まで攻撃の手を緩めなかった東海大が、74-63、11 点リードで全勝をキープした。